扱い	テレビ・ラジオ・新聞 制限無し
解禁	無し

## 記者発表資料

平成23年 8月25日

# 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩壊による影響範囲を検討します

### ~第2回 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会の開催~

現在、雲仙普賢岳の火山活動は終息しているものの、雲仙岳平成新山周辺には、噴火活動に伴い、溶岩ドームと呼ばれる巨大な岩塊群が不安定に存在し、溶岩ドーム崩壊等の災害が懸念されています。

そこで、雲仙復興事務所は、溶岩ドーム崩壊による影響を検討するため、平成23年3月18日、学識経験者から構成される「雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会」を開催し、溶岩ドーム崩壊に関し、今後想定される現象について討議しました。

このたび、標記委員会の上記討議結果をふまえ、**溶岩ドーム崩壊による影響を検討するため、第2回 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会**を下記のとおり開催します。

#### 【委員会前のヘリによる溶岩ドーム調査】

開催日:平成23年8月29日(月)

時 間 :委員長のヘリ調査は、11時00分から11時30分見込み

離発着場所:船泊ヘリポート(別紙参照)

#### 【委員会概要】

開催日 : 平成23年 8月29日(月)

名 称:第2回 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会

時 間:13時00分~14時30分 開催場所:雲仙岳災害記念館 セミナー室

なお、委員会は公開で行い、本委員会終了後、休憩をはさみ、下記のとおり記者会

見を実施する予定です。

#### 【記者会見概要】

開催時間:14時45分~15時15分

開催場所:雲仙岳災害記念館 セミナー室(委員会と同様))

#### ※行程等、当日の天候や諸事情により変更する場合がありますのでご了承下さい。

問い合わせ先

発表記者クラブ

・島原記者クラブ

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所 (0957)64-4171(代表) 技術副所長 田中 育穂 (内204) 調査課長 前田 昭浩 (内351) ホームペーシェアトーレス:http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/

# 第2回 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会 議事次第

開催日時 : 平成23年 8月29日 (月)

【ヘリコプターでの現地調査(該当者のみ)】

乗降場所 :船泊ヘリポート

現地調査時間:委員長のヘリ調査は、11:00から11:30見込み

## 【委員会】

開催場所 : 雲仙岳災害記念館1Fセミナー室

議事次第 :

1. 開 会 13:00

2. 挨 拶

島原市長 横田 修一郎 13:00~13:05

3. 開会挨拶

雲仙復興事務所 所長 田村 圭司 13:05~13:10

4. 検討次第 13:10~14:30

(1) 前回の委員会討議結果

- (2) 溶岩ドーム崩壊シミュレーションモデルの選定
- (3) パラメータの設定
- (4) 溶岩ドーム崩落予測計算の実施
- (5) 溶岩ドーム崩壊による影響範囲

5. 閉 会 14:30

休憩(配置替えを含む) 14:30~14:45

6. 記者発表会(継続して行われます) 14:45~15:15

# 第2回 雲仙普賢岳溶岩ドーム崩落に関する危険度評価検討委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

委員 小橋 澄治 京都大学 名誉教授

太田 一也 九州大学 名誉教授

中村 浩之 東京農工大学 名誉教授

蒋 宇静 長崎大学工学部社会開発工学科教授(今回欠席)

清水 洋 九州大学大学院理学研究院附属

地震火山観測研究センター 教授

里深 好文 立命館大学理工学部都市システム工学科 教授

山田 孝 三重大学大学院生物資源学研究科 教授(今回欠席)

田村 圭司 九州地方整備局 雲仙復興事務所 所長

#### 【オブザーバー】

松永 守 長崎県 土木部砂防課 課長

武末 和博 長崎県 危機管理監危機管理課 課長

江口 道信 長崎県 島原振興局 局長

横田 修一郎 島原市 市長

渡部 博 南島原市 総務部総務課 課長

大園 和典 雲仙市 市民生活部市民安全課 課長

中原 一則 林野庁 長崎森林管理署 署長

井野 常雄 林野庁 九州森林管理局治山課 治山技術専門官

加藤 雅寛 環境省 九州地方環境事務所

雲仙自然保護官事務所 自然保護官

山内 博 福岡管区気象台 総務部業務課

火山監視・情報センター長

島本 卓三 九州地方整備局 河川部 地域河川調整官

#### 【事務局】

国土交通省九州地方整備局 雲仙復興事務所

